

運用報告書 (全体版)

新光ブラジル債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年12月22日から2025年12月8日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光ブラジル債券ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行います。 ブラジル籍外国投資法人 ユニバンコ・ブラジル・ソプリ ン・エヌアールアイの投資証券 (ブラジルレアル建) 国内証券投資信託(親投資信託) 短期公社債マザーファンドの受益証券
	ユニバンコ・ブラジル・ソプリ ン・エヌアールアイの投資証券	ブラジルレアル建てのブラジル国債
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市場動向などを勘案して決定するものとし、ブラジルポンド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
組入制限	新光ブラジル債券ファンド	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外資建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第167期	<決算日	2023年1月10日>
第168期	<決算日	2023年2月8日>
第169期	<決算日	2023年3月8日>
第170期	<決算日	2023年4月10日>
第171期	<決算日	2023年5月8日>
第172期	<決算日	2023年6月8日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光ブラジル債券ファンド」は、2023年6月8日に第172期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

新光ブラジル債券ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	投資証券比率	純資産額
		(分配落)	税金分配	み騰落率			
		円	円	%	%	%	百万円
第25作成期	143期(2021年1月8日)	1,203	10	△5.0	0.4	95.0	21,967
	144期(2021年2月8日)	1,219	10	2.2	0.4	96.6	21,863
	145期(2021年3月8日)	1,168	10	△3.4	0.4	96.0	20,567
	146期(2021年4月8日)	1,170	10	1.0	-	95.4	20,261
	147期(2021年5月10日)	1,238	10	6.7	-	96.7	21,175
	148期(2021年6月8日)	1,297	10	5.6	-	96.1	21,730
第26作成期	149期(2021年7月8日)	1,253	10	△2.6	-	95.3	20,774
	150期(2021年8月10日)	1,233	10	△0.8	-	96.1	20,192
	151期(2021年9月8日)	1,237	10	1.1	-	96.8	20,051
	152期(2021年10月8日)	1,173	10	△4.4	-	95.7	18,738
	153期(2021年11月8日)	1,153	10	△0.9	-	96.4	18,231
	154期(2021年12月8日)	1,152	10	0.8	-	96.0	17,886
第27作成期	155期(2022年1月11日)	1,149	3	0.0	-	95.3	17,564
	156期(2022年2月8日)	1,243	3	8.4	-	95.5	17,749
	157期(2022年3月8日)	1,278	3	3.1	-	96.7	17,810
	158期(2022年4月8日)	1,497	3	17.4	-	94.5	20,186
	159期(2022年5月9日)	1,477	3	△1.1	-	94.9	18,970
	160期(2022年6月8日)	1,569	3	6.4	-	95.6	19,524
第28作成期	161期(2022年7月8日)	1,463	3	△6.6	-	94.2	17,308
	162期(2022年8月8日)	1,518	3	4.0	-	94.5	17,638
	163期(2022年9月8日)	1,593	3	5.1	-	93.6	17,933
	164期(2022年10月11日)	1,638	3	3.0	-	93.5	17,860
	165期(2022年11月8日)	1,657	3	1.3	-	93.2	17,534
	166期(2022年12月8日)	1,528	3	△7.6	-	93.6	15,911
第29作成期	167期(2023年1月10日)	1,473	3	△3.4	-	93.7	15,197
	168期(2023年2月8日)	1,484	3	1.0	-	94.7	15,153
	169期(2023年3月8日)	1,569	3	5.9	-	94.4	15,865
	170期(2023年4月10日)	1,581	3	1.0	0.4	93.8	15,806
	171期(2023年5月8日)	1,662	3	5.3	0.4	94.0	16,340
	172期(2023年6月8日)	1,755	3	5.8	0.4	93.8	16,657

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	投 資 証 比	券 率
		円	騰 落 率			
第167期	(期首) 2022年12月8日	1,528	—	—	—	93.6
	12月 末	1,478	△3.3	—	—	93.8
	(期末) 2023年1月10日	1,476	△3.4	—	—	93.7
第168期	(期首) 2023年1月10日	1,473	—	—	—	93.7
	1月 末	1,503	2.0	—	—	94.5
	(期末) 2023年2月8日	1,487	1.0	—	—	94.7
第169期	(期首) 2023年2月8日	1,484	—	—	—	94.7
	2月 末	1,556	4.9	—	—	94.3
	(期末) 2023年3月8日	1,572	5.9	—	—	94.4
第170期	(期首) 2023年3月8日	1,569	—	—	—	94.4
	3月 末	1,580	0.7	—	—	93.7
	(期末) 2023年4月10日	1,584	1.0	0.4	—	93.8
第171期	(期首) 2023年4月10日	1,581	—	0.4	—	93.8
	4月 末	1,634	3.4	0.4	—	94.0
	(期末) 2023年5月8日	1,665	5.3	0.4	—	94.0
第172期	(期首) 2023年5月8日	1,662	—	0.4	—	94.0
	5月 末	1,710	2.9	0.4	—	94.8
	(期末) 2023年6月8日	1,758	5.8	0.4	—	93.8

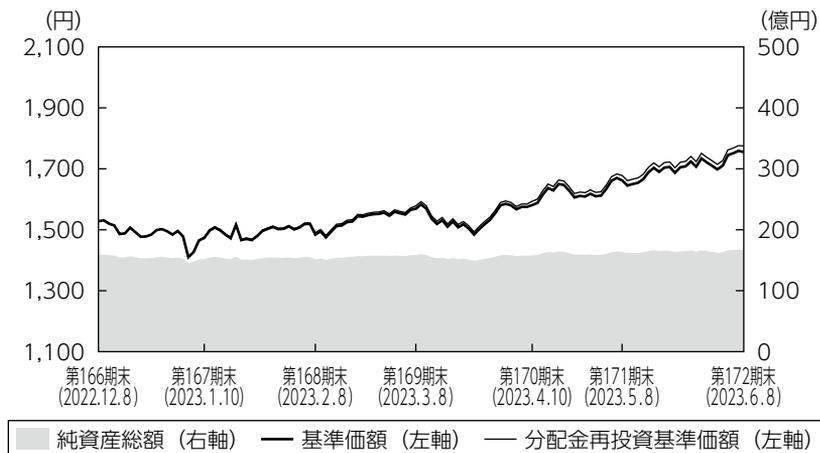
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第167期～第172期の運用経過（2022年12月9日から2023年6月8日まで）

基準価額等の推移



第167期首： 1,528円
第172期末： 1,755円
(既払分配金18円)
騰落率： 16.2%
(分配金再投資ベース)

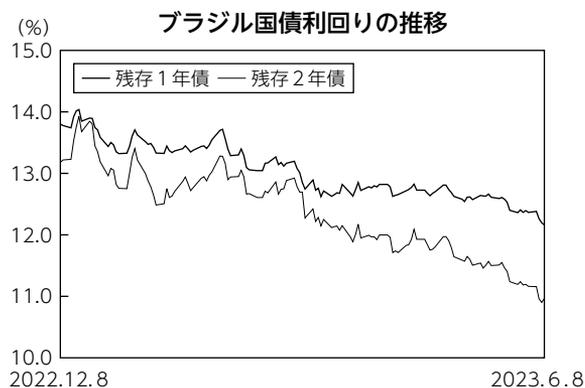
- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 - (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
 - (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
 - (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

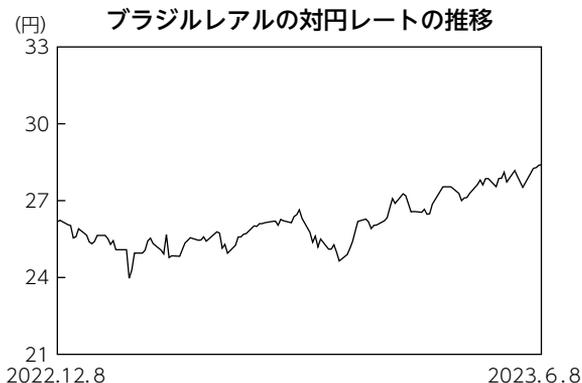
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、債券市場が堅調に推移し、ブラジルリアルが対円で上昇したことから基準価額は上昇しました。

投資環境

ブラジル債券市場は、上昇しました。作成期初から1月上旬にかけては、インフレ率の前年比の数値がピークアウトし、鈍化傾向にあることなどから、堅調な動きとなりました。一時、中長期的なインフレ期待の高まりから金利上昇圧力を受けたものの、その後は、インフレ率の鈍化傾向の継続や、政府が公表した新たな財政枠組みが好感されたことなどから、堅調に推移しました。



作成期初から年始にかけて、日銀が12月の金融政策決定会合で長期金利の変動許容幅拡大を決定し、金融政策正常化への期待が高まったことから円が買われ、ブラジルレアルは下落しましたが、その後、上昇に転じました。3月の米国銀行の破綻等を受け、リスク回避姿勢が強まりレアルが弱含む局面もありましたが、作成期末にかけては、政府が公表した新たな財政枠組みが財政懸念を緩和させたことなどから上昇しました。



国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

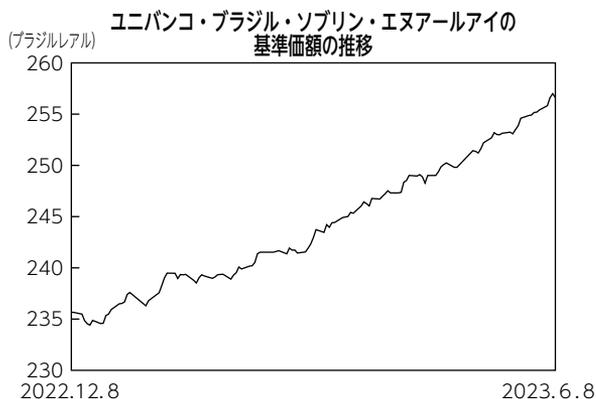
ポートフォリオについて

●当ファンド

資金動向に応じてブラジルボンド・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジルボンド・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

●ブラジルボンド・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。当作成期間においては、引き続き物価連動債と変動金利国債を中心にポートフォリオを構築しました。デフレーションに関しては、インフレ率が低下傾向で中央銀行による早期利下げが見込まれることから2月から4月にかけて長期化しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●短期公社債マザーファンド

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
	2022年12月9日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月8日	2023年2月9日 ～2023年3月8日	2023年3月9日 ～2023年4月10日	2023年4月11日 ～2023年5月8日	2023年5月9日 ～2023年6月8日
当期分配金（税引前）	3円	3円	3円	3円	3円	3円
対基準価額比率	0.20%	0.20%	0.19%	0.19%	0.18%	0.17%
当期の収益	3円	3円	3円	3円	3円	3円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,041円	1,043円	1,047円	1,049円	1,052円	1,056円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジル債券・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジル債券・ファンド

ブラジル経済は、雇用環境は依然底堅いものの、一部の景気指標に減速の兆しがあり、今後は新たな財政枠組みの進展ならびに今後議論される税制改革等が注目点と考えます。債券市場は、中央銀行による利下げ時期や新政権の貧困対策による財政の悪化がどの程度になるのかなどが注目される中、金融、財政政策の今後の動向を睨みながらの展開になると考えています。引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。

●短期公社債マザーファンド

4月に発足した日銀の新体制において、植田新総裁は金融緩和を堅持する姿勢を示しました。当面は、消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、緩和的な金融政策を維持するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第167期～第172期 (2022年12月9日 ～2023年6月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	10円	
(投信会社)	(4)	(0.244)	
(販売会社)	(6)	(0.381)	
(受託会社)	(0)	(0.025)	
(b) その他費用	1	0.071	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.071)	
(監査費用)	(0)	(0.000)	
合計	11	0.721	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

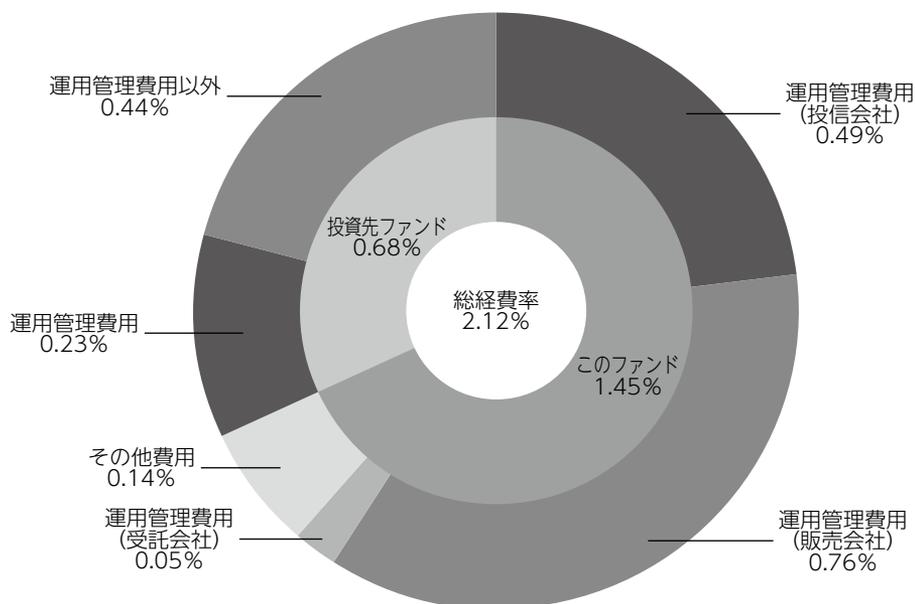
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



総経費率 (①+②+③)	2.12%
①このファンドの費用の比率	1.45%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.44%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2022年12月9日から2023年6月8日まで）
投資証券

	第 167 期 ~ 第 172 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	千□	千ブラジル・リアル	千□	千ブラジル・リアル
ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	—	—	218.3433478	53,300

(注) 金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2022年12月9日から2023年6月8日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■**利害関係人との取引状況等**（2022年12月9日から2023年6月8日まで）

【**新光ブラジル債券ファンドにおける利害関係人との取引状況等**】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【**短期公社債マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等**】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 167 期 ~ 第 172 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D
公 社 債						

平均保有割合 33.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■**組入資産の明細**

(1) **ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細**

フ ァ ン ド 名	第28作成期末		第 29 作 成 期 末		比 率
	□ 数	□ 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	千□	千□	千ブラジル・リアル	千円	%
合 計	2,415.5042502	2,197.1609024	549,984	15,619,114	93.8
	2,415.5042502	2,197.1609024	549,984	15,619,114	93.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) **親投資信託残高**

	第 28 作 成 期 末		第 29 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
短 期 公 社 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□	千□	千円	千円
	107,294	107,294	109,193	

■投資信託財産の構成

2023年6月8日現在

項 目	第 29 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	15,619,114	93.1
短期公社債マザーファンド	109,193	0.7
コール・ローン等、その他	1,043,168	6.2
投資信託財産総額	16,771,475	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、15,619,114千円、93.1％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年6月8日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=28.399円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年1月10日)、(2023年2月8日)、(2023年3月8日)、(2023年4月10日)、(2023年5月8日)、(2023年6月8日)現在

項 目	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末
(A) 資 産	15,318,400,515円	15,220,575,510円	15,924,806,365円	15,937,486,870円	16,399,391,068円	16,771,475,970円
コール・ローン等	904,707,192	766,615,719	845,684,335	947,546,719	936,613,957	1,043,168,038
投資証券(評価額)	14,243,897,707	14,344,755,946	14,969,918,185	14,820,470,821	15,353,583,995	15,619,114,816
短期公社債マザーファンド(評価額)	109,203,845	109,203,845	109,203,845	109,193,116	109,193,116	109,193,116
未 収 入 金	60,591,771	-	-	60,276,214	-	-
(B) 負 債	121,085,492	67,508,000	59,604,899	130,654,359	58,563,508	114,285,855
未 払 金	60,211,076	-	-	60,937,681	-	-
未払収益分配金	30,947,977	30,631,773	30,337,102	29,993,545	29,493,183	28,474,961
未 払 解 約 金	11,476,534	20,730,886	13,483,981	21,231,382	12,720,027	67,397,961
未 払 信 託 報 酬	18,408,960	16,109,513	15,748,787	18,450,715	16,314,010	18,372,069
その他未払費用	40,945	35,828	35,029	41,036	36,288	40,864
(C) 純資産総額(A-B)	15,197,315,023	15,153,067,510	15,865,201,466	15,806,832,511	16,340,827,560	16,657,190,115
元 本	103,159,925,957	102,105,913,065	101,123,674,882	99,978,486,247	98,310,611,659	94,916,539,098
次期繰越損益金	△87,962,610,934	△86,952,845,555	△85,258,473,416	△84,171,653,736	△81,969,784,099	△78,259,348,983
(D) 受益権総口数	103,159,925,957口	102,105,913,065口	101,123,674,882口	99,978,486,247口	98,310,611,659口	94,916,539,098口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,473円	1,484円	1,569円	1,581円	1,662円	1,755円

(注) 第166期末における元本額は104,148,354,522円、当作成期間(第167期~第172期)中における追加設定元本額は335,663,825円、同解約元本額は9,567,479,249円です。

■損益の状況

〔自 2022年12月9日 至 2023年1月10日〕〔自 2023年1月11日 至 2023年2月8日〕〔自 2023年2月9日 至 2023年3月8日〕〔自 2023年3月9日 至 2023年4月10日〕〔自 2023年4月11日 至 2023年5月8日〕〔自 2023年5月9日 至 2023年6月8日〕

項 目	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
(A) 配 当 等 収 益	60,141,488円	60,239,664円	62,454,252円	60,852,290円	62,302,439円	63,271,906円
受 取 配 当 金	60,179,423	60,247,167	62,461,732	60,859,634	62,324,474	63,303,988
受 取 利 息	173	30	36	32	17	325
支 払 利 息	△38,108	△7,533	△7,516	△7,376	△22,052	△32,407
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△571,376,980	99,407,107	843,309,147	110,897,583	783,009,249	866,035,992
売 買 益	54,307,381	100,324,014	844,116,369	243,394,986	785,392,290	871,192,829
売 買 損	△625,684,361	△916,907	△807,222	△132,497,403	△2,383,041	△5,156,837
(C) 信 託 報 酬 等	△20,386,903	△18,017,266	△17,607,367	△20,347,006	△18,210,642	△20,263,569
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△531,622,395	141,629,505	888,156,032	151,402,867	827,101,046	909,044,329
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△19,947,148,433	△20,289,883,131	△19,976,075,379	△18,888,703,334	△18,447,221,530	△17,026,383,493
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△67,452,892,129	△66,773,960,156	△66,140,216,967	△65,404,359,724	△64,320,170,432	△62,113,534,858
(配 当 等 相 当 額)	(4,880,440,277)	(4,833,520,369)	(4,789,532,276)	(4,739,248,246)	(4,662,326,475)	(4,505,873,937)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△72,333,332,406)	(△71,607,480,525)	(△70,929,749,243)	(△70,143,607,970)	(△68,982,496,907)	(△66,619,408,795)
(G) 合 計 (D+E+F)	△87,931,662,957	△86,922,213,782	△85,228,136,314	△84,141,660,191	△81,940,290,916	△78,230,874,022
(H) 収 益 分 配 金	△30,947,977	△30,631,773	△30,337,102	△29,993,545	△29,493,183	△28,474,961
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△87,962,610,934	△86,952,845,555	△85,258,473,416	△84,171,653,736	△81,969,784,099	△78,259,348,983
追 加 信 託 差 損 益 金	△67,452,892,129	△66,773,960,156	△66,140,216,967	△65,404,359,724	△64,320,170,432	△62,113,534,858
(配 当 等 相 当 額)	(4,880,440,276)	(4,833,520,369)	(4,789,532,276)	(4,739,248,246)	(4,662,326,482)	(4,505,873,957)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△72,333,332,405)	(△71,607,480,525)	(△70,929,749,243)	(△70,143,607,970)	(△68,982,496,914)	(△66,619,408,815)
分 配 準 備 積 立 金	5,866,211,456	5,826,142,787	5,798,487,688	5,752,517,313	5,685,908,942	5,518,585,285
繰 越 損 益 金	△26,375,930,261	△26,005,028,186	△24,916,744,137	△24,519,811,325	△23,335,522,609	△21,664,399,410

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
(a) 経費控除後の配当等収益	39,751,108円	53,440,736円	61,238,268円	53,645,674円	60,992,856円	61,927,936円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	4,880,440,276	4,833,520,369	4,789,532,276	4,739,248,246	4,662,326,482	4,505,873,957
(d) 分 配 準 備 積 立 金	5,857,408,325	5,803,333,824	5,767,586,522	5,728,865,184	5,654,409,269	5,485,132,310
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	10,777,599,709	10,690,294,929	10,618,357,066	10,521,759,104	10,377,728,607	10,052,934,203
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,044.75	1,046.98	1,050.04	1,052.40	1,055.61	1,059.13
(g) 分 配 金	30,947,977	30,631,773	30,337,102	29,993,545	29,493,183	28,474,961
(h) 1万口当たり分配金	3	3	3	3	3	3

■分配金のお知らせ

決算期	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
1 万口当たり分配金	3円	3円	3円	3円	3円	3円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■信託期間を延長し、償還日を2025年12月8日とする変更を行いました。

(2023年3月9日)

ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	ブラジル籍外国投資法人／ブラジルリアル建投資証券
主 な 運 用 方 針	信用リスクの低い金融資産などを通じて国内金利商品に実質的に投資することにより受益者に利益を提供することを目的とします。金利市場の変動性が高まった場合においても、同市場への実質的な投資は維持します。
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の98%以上をブラジル政府の発行する債券に投資します。 ・派生商品取引については、流動性を有し、時価評価が可能なものについて、保有証券の範囲内で、ポートフォリオの保護または実質的な投資比率の確保の目的で利用します。 ・低流動性資産への投資は純資産総額の15%未満とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・レバレッジをかける運用は行いません。 ・資金の借り入れは原則として行いません。 ・レポ取引は行いません。 ・自らが発行するユニットを含む、いかなるファンドまたは投資スキームの受益権または持分の取得も行いません。 ・為替ヘッジは行いません。
信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年12月31日
収 益 分 配 方 針	設定当初を除き、原則として毎月、運用会社が決定した額を分配します。
信 託 報 酬 等	純資産総額に対して年率0.25%を乗じて得た額 上記の他、証券取引に伴う手数料、ファンドの設立に関連した費用などがファンドから支払われます。
関 係 法 人	管理事務代行会社 兼 保管銀行：イタウ・ユニバンク・エス・エー 投資顧問会社：イタウ・ユニバンク・アセット・マネジメント・リミタダ

「ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの内容

(1) 財政状態計算書

2021年12月31日現在

投資／銘柄	数量	公正価値／実現可能価額 千リアル	純資産に対する比率 %
1. 現金および現金同等物		308	0.04
銀行預金		308	0.04
2. 債券	317,152	840,991	100.44
2.1 利付国債および物価連動国債－NTN	233,236	733,070	87.55
2.2 割引国債－LTN	80,088	64,977	7.76
2.3 変動金利国債－LFT	3,828	42,944	5.13
3. デリバティブ金融商品		241	0.03
3.1 先物市場		241	0.03
4. 資産合計		841,540	100.51
5. デリバティブ金融商品		375	0.04
5.1 先物市場		375	0.04
6. 未払金		3,865	0.46
7. 負債合計		4,240	0.51
8. 純資産		837,300	100.00

(2) 運用純資産変動計算書

2021年および2020年12月31日に終了した会計年度
(単位：1口当たり証券価額を除き、千リアル)

			2021年12月	2020年12月
期首現在純資産				
合計	4,184,084.873口	1口当たりの価額 261.088808	1,092,418	
	5,010,405.253口	1口当たりの価額 287.247612		1,439,227
証券の償還	529,930.591口		(285,096)	
	269,959.364口			(562,490)
アモチゼーション			(118,139)	(181,906)
証券の償還の変動額			156,296	341,490
当期損益控除前純資産			845,479	1,036,321
当期損益の構成：				
Aー株式（またはファンドのユニット）			(11,305)	13,584
公正価値での評価益の認識			(11,305)	13,584
Bー債券およびその他の有価証券			7,106	40,221
公正価値でのインカム・ゲインおよび評価益の認識			2,383	33,606
取引利益			4,723	6,615
Cーその他の収益			2,253,388	299,028
デリバティブによる利益			2,253,388	229,028
Dーその他の費用			2,257,368	296,736
投資顧問会社報酬			2,376	3,196
監査および保管			139	196
デリバティブによる損失			2,250,498	293,090
検査報酬			60	66
雑費			4,295	188
当期純利益			(8,179)	56,097
当期末現在純資産				
合計	3,654,154.282口	1口当たりの価額 229.136405	837,300	
	4,184,084.873口	1口当たりの価額 261.088808		1,092,418

(3) 有価証券明細

2021年12月31日現在

銘柄名	利率	評価額	償還年月日
	%	ブラジルリアル	
NTN-B (物価連動国債)	6.00	213,788,452.86	2022/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	117,951,302.11	2026/8/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	94,945,719.01	2024/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	83,905,508.33	2023/5/15
LTN (割引国債)	—	64,888,424.14	2024/1/2
NTN-F (利付国債)	10.00	56,739,074.29	2027/1/4
NTN-B (物価連動国債)	6.00	34,714,562.14	2030/8/15
LFT (変動金利国債)	—	34,221,963.51	2023/9/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	28,469,158.57	2050/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	19,163,676.68	2028/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	18,167,944.41	2055/5/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	16,138,098.35	2045/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	14,993,106.16	2035/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	13,331,966.49	2025/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	12,107,460.95	2040/8/15
NTN-F (利付国債)	10.00	8,555,421.62	2025/1/2
LFT (変動金利国債)	—	4,950,782.67	2023/3/1
LFT (変動金利国債)	—	3,604,492.04	2022/9/1
LFT (変動金利国債)	—	167,095.56	2026/3/2
NTN-F (利付国債)	10.00	98,356.29	2029/1/2
LTN (割引国債)	—	87,969.05	2022/1/3

(有価証券明細はイタウ・ユニバンク・エス・エー提供のデータより作成しております。)

短期公社債マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2022年8月22日）

（計算期間 2021年8月24日～2022年8月22日）

短期公社債マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
14期(2020年8月24日)	円 10,181		% △0.0	% 91.1	% —	百万円 357
15期(2021年8月23日)	10,181		0.0	—	—	331
16期(2022年8月22日)	10,180		△0.0	—	—	231

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

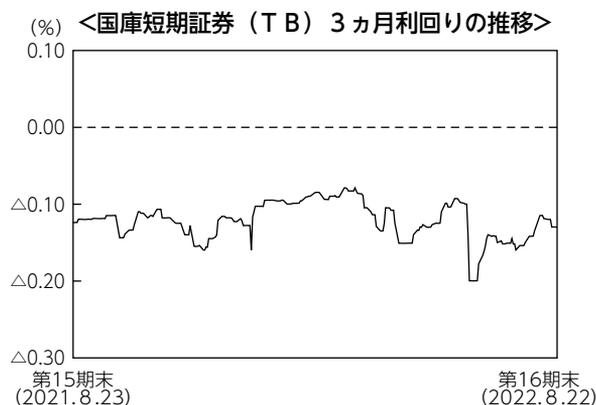
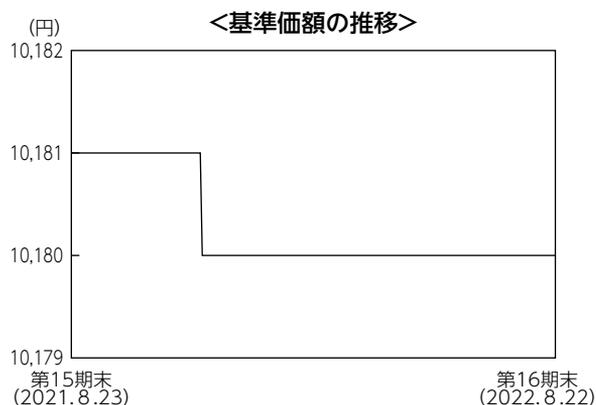
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年 8 月23日	円 10,181	% -	% -	% -	% -
8 月 末	10,181	0.0	-	-	-
9 月 末	10,181	0.0	-	-	-
10 月 末	10,181	0.0	-	-	-
11 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
12 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
2022年 1 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
2 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
3 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
4 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
5 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
6 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
7 月 末	10,180	△0.0	-	-	-
(期 末) 2022年 8 月22日	10,180	△0.0	-	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2021年8月24日から2022年8月22日まで）



※国庫短期証券（T B）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,180円となり、前期末の同10,181円から△0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

当計算期間中はコールローンで運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響によりコール利回りがマイナスで推移したため、前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

当計算期間中はコールローンで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2021年8月24日から2022年8月22日まで)

期中の売買及び取引はありません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年8月24日から2022年8月22日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

2022年8月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

■ 投資信託財産の構成

2022年8月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 231,235	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	231,235	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■ 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年8月22日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	231,235,676円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	231,235,676
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	231,235,676
元 本	227,154,484
次 期 繰 越 損 益 金	4,081,192
(D) 受 益 権 総 口 数	227,154,484口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,180円

(注1) 期首元本額 325,386,312円
追加設定元本額 -円
一部解約元本額 98,231,828円

(注2) 期末における元本の内訳
新光ビュア・インド株式ファンド 119,860,472円
新光ブラジル債券ファンド 107,294,012円
期末元本合計 227,154,484円

■ 損益の状況

当期 自2021年8月24日 至2022年8月22日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	△36,280円
支 払 利 息	△36,280
(B) 当 期 損 益 金(A)	△36,280
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,885,644
(D) 解 約 差 損 益 金	△1,768,172
(E) 合 計(B+C+D)	4,081,192
次 期 繰 越 損 益 金(E)	4,081,192

(注) (D)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。